

消防自動車を購入

中龍分団に配置

村消防団として
念願の消防自動車
の二台目(一二五
馬力)を購入、十
一月二十日入魂式
を行った。
なお、この消防
自動車は中龍分団
に配置する。
写真は、新しく
購入した消防自動
車の偉容。



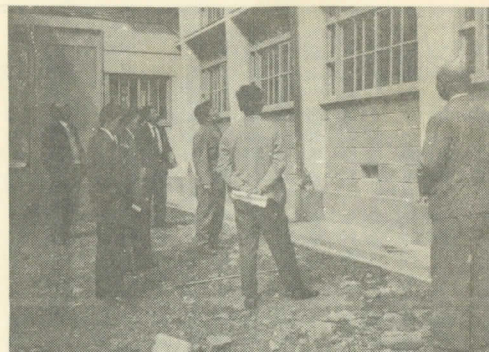
発行所
福井県大野郡
和泉村

(昭和40年11月1日現在)

村の人口	
出生	5人
死亡	2人
転入	21人
転出	103人
総人口	4,044人
男	2,094人
女	1,950人
世帯数	1,199世帯

村議会総務常任委員の一行 水没地域の学校を巡視

既報、村議会総務委員一行、水没する大和小
学校屋体を視察する一コマ。



岐阜国体を参観して 和泉村体協

岐阜国体を一言に評せば「素晴らしか
った」と云える。私達は県営の陸上競
技場野球場、庭球水泳場等長良河畔の
会場のみしか見えないが、夫等を通
して施設の上で先ず羨望を感じたと同
時に競技運営でも川本氏の評は少し酷
すぎると思った。一億二千万円の巨費
を投じて選手強化に当たったという事
については賛否両論があるがどんな事

でも「力を入れる」ということは或程
度経費を注入することとそれだけ岐阜
県は努力したとみたい。殊に選手役員
以外の人々の協力的で親切、成功への
努力、等は讃えてよいと思う。選手役
員には接しえなかつたので何も云えな
いが恐らくより以上のものがあつたで
あろう。どの種目にも抜群の成績を挙
げ、遂に「完全優勝」の偉業を成し遂

強調目標

- あわただしい年の暮となり
なりました。各自が防犯に協力しま
しょう。
1. 寝る前に、留守に
する時は鍵重なる戸
締をしましょう。
 1. 人ごみでは懐中物
手提カバンなど持
物には常に気をく
ばりましょう。
 1. 夜の一人歩きはさ
げましょう。

○ 広報は、家族みんなで読みましょう。

げたことは見習うべきである。岐阜県
へ一步印すると全く国体ムードが一ぱ
いであつた。どんな小さなことでも
それが感受せられた。而も、誠によい
印象の下に――。私等は油坂をへて岐
阜入りをしたが八幡町よりの道路は素
晴しかつた。さて主として観戦したの
は陸上競技であつた。本県選手も精一
ばい戦つたが前田君の砲丸を除いて完
敗に終つた。福井新聞ではその敢斗ぶ
りを激賞してあつたし成績も従来の最
高を伝えていたが残念ながら成績はど
うしても最高のものとは云えない。予
選を辛うじて通るくらいでは最高と評
しえないと思う。敗れたことに変りは
ない、「今一息だ」というがそれをく
り返しているようではどうかと思う。
敵しい助言は愛情である。甘い評は葉
にならない、正直にいつて本県の陸上
レベルはまだまだ低い。二十三回国体
までにみっちり二ヶ年の練磨が大切で
ある。それには施設もさることながら
適材適所主義で指導者を有効に使うべ
きである。「笛吹けど踊らず」という
言葉はあるが、踊るような態勢になす
ことの方が先決問題である。踊らせる
為のムード作りは政治的に教育的に経
済的に未だ未だ努力しなくては県民の
競技の実績は上がらないであらう。
さて、ふりかえつて本村の実状はど
うか、第17回福井県民体育大会にも三
十数名参加(本紙既報)したが、本村
の選手は「素質は充分ある、要は努力
あるのみ」と断言できる。特に冬期ス
キー部門においては強調できる。本村
体育協会では、昭和四十三年福井国体
には少くとも数名以上の国体選手を送
るべく今からその体勢を整えたいと考
えています。村民皆様のご協力をお願
いします。

季節風

社会教育への認識を深めよう

教育白書は昭和三十四年十一月一日に文部省が「教育の実態について」公表した「我が国の教育の水準」と言う表題の報告書が此の白書の始まりで当時の我が国の教育水準と世界の諸国の教育水準との比較をした実態報告書であった。一般には文部省の教育白書と呼ばれて居ます。其の後毎年文化の日を前に発表されて居ますが白書にはその都度「日本の成長と教育」とか言う様に表題がつけられて居ます。今年も去る十一月五日に「我が国の社会教育」と言う表題のもとに白書が発表されました。これは社会教育の役割りや社会教育の現状と課題を報告したもので社会教育の目的は学校教育と並んで心身とも健全なる国民を育成することにあるが一般に我が国の社会教育は内容的にも又施設面もきわめて貧弱であると批判されて居ます。普通一般に教育と言えは学校教育だけと考えられやすく社会教育の重要性は十分に理解されて居ないと言うので今回の教育白書のねらいは社会教育の現状を明らかにし進展する社会に対応する社会教育の課題と将来への展望を試みながら社会教育に対する国民の認識を高めるよう目的として居ます。学校教育が世界的に最高の水準にまで発達して居るのに比べれば社会教育ははるかに居ると居ると言うのが現況で、青少年でも成年でも積極的にグループ活動や施設を利用したりするものはごく限られた人達だけだと言う。従来の教育白書は学校教育の問題だけ取り上げられて来たが社会教育



児童の勉学は

先ず環境作りから!

大納小学校児童の勉強机、椅子を見て古いのは結構だが、いかにもちぐはぐなのがよく発達盛りの児童にとつては晴々とした気持ちで腰掛ける児童は少いのではないかと思ひます。逆に大人だつたら結構ぐちをこぼすだろう。児童はぐち一ついわず、もくもくと勉強に打込んで居る姿があれで、いかに山間地とはいへ、大納部落にあつては案外開発された土地ではないだろうか。山村での生活にたえ、児童は毎日風雨雪にもめげず、元気で、古校舍大納校へ登校する姿は痛ましい限りでありま

都会なら大きな運動場、室内遊戯場を持ち、校舎も鉄筋で何一つ不自由なく勉学に精出せるが、大納校にあつては校舎の古いのは仕方ないとしても、

育そのものだけが扱われたのは今回が初めてであります。社会教育法や教育基本法では社会教育は国および地方公共団体に依つて奨励されるべくその責任を明らかにして居る。白書の指摘する様に青少年教育、成人教育、婦人教育の対象を拡大し農村での青年学級が沈滞するを防ぐ必要はあるだろう。特に地域の人の基本となる生産、生活技術を高める指導や生活に即した面からの科学的なものの方、考え方なども学びとらせる必要はあろう。

こうして健全な地域社会の住民を育成することが社会教育の任務であらう

机や椅子がこわれかけているのやら、高さがちぐはぐなのが気にかかります。まして伸びざかりの児童にとつて、姿勢の問題が何よりも大切ではないだろうか。

今私は、小学校四年生頃の記憶をたどつて見るとたしか修身の時間だつたと思ひます。先生に君達は非常に姿勢が悪いと注意をうけ其の時先生曰く「机と椅子の高さの違いは30cmが一番適当だ」と教つたことを思ひます。椅子に腰掛けて胸をはり手の肘を曲げて水平に肘を曲げて水平に机の上における状態が一番良い姿勢だと注意を受けた事があります。

それで今すぐ全部新しく机・椅子を購入して下さいとはいいませんが、徐々に予算化していただき児童が気持ちよく勉学に支障のないよう愛の手を差しのべてやりたいものです。村の教育振興対策の向上を望みます。

村会議員、PTA役員の方々へ一考を促し、父兄の一人としてお願い致します。

相良 孝成

ローマは一日にして成らず。

【お答え】 (教育委員会)

近來青少年の発育は顕著なため、各学校共児童生徒のからだにあわない机椅子の使用を余儀なくされて居ますが村教育委員会は学校当局と協力して、それぞれの児童の体位に適合する机、椅子の配置につとめています。さし当つてその暫定的な措置の一として、水没地区の廃校になる学校から、順次規格に近い現品を補充して居ます。

文部省も現下青少年体位の向上に伴つて、従来の規格を改正して、新しく制定する運びになつたので、逐次、管内各学校の机、椅子も新しい規格に造り替へるようになつて居ると考えて居ます。

国民健康保険だより

一、世帯員七割給付の実施について
今まで国民健康保険の世帯主(準世帯主を含む)について七割、世帯員について五割の給付をしてまいりましたが昭和四十一年一月一日から世帯員についても七割給付を実施することにになりました。

これは国が四ヶ年計画(三十九年度から四十二年度まで)で世帯員の七割給付を実施するに当り、その第二年度目に当村が申請して、許可になつたものです。

この七割給付実施に伴い、十二月中に被保険者証にその旨を標示しなければなりませんので、通知を差上げましたら直に被保険者証を提出でき得るよう御用意下さい。

二、各種届けについて
国民健康保険では次のような場合、必ず被保険者証と印鑑持参の上届け

- 出て下さい。
- (1) 転入・出生・社会保険脱退の場合
 - (2) 転出・死亡・社会保険加入の場合
 - (3) 学生用の被保険者証を必要とする場合(在学証明書が必要)
 - (4) 旅行その他の理由により長期に亘り住所を離れるため、単独の被保険者証を必要とする場合
 - (5) 被保険者の氏名を変更する場合
 - (6) 被保険者の世帯変更の場合
 - (7) 世帯主の住所、氏名変更の場合
 - (8) 世帯主を変更する場合
- 三、療養費払いについて(現金給付)
緊急止むを得ない事情(たとえば旅行中急に発病した場合など)によつて被保険者証のないままお医者さんにかつたとか、被保険者証は持つていたが保険医でなかつた場合、窓口で全額現金払いをしますが、その場合忘れずに次の書類をお医者さんからもらつて、印鑑と共に係へ出して下さい。
- (1) 診療報酬請求明細書
(2) 領収書
- 四、被保険者証について
大切なものですから大事に保管して下さいと共に、無くなつた場合は、係で再交付(印鑑持参)してもらつて下さい。
- 尚資格の無くなつた方で、被保険者証を返さずに使われる方が時々あつたため、お医者さんや役場が非常に迷惑なつたことがありますので、資格が無くなつて被保険者証をまだ返してない方は至急返納して下さい。
- 特に転出される方は、届けと共に被保険者証を必ず返納下さるよう重ねてお願い致します。

私の常識

年賀状は早めに!!

元日の朝「郵便です」とどっしり重い年賀状が送り込まれると、何となく気持ちのいいものである。一年中ペンや筆をにぎったことのない人でも、年賀状だけはいがい出すものである。そして「あいつも元気でいるか」「こんな所にいたのか」と古き友をなつかしむものである。▲同じ年賀状をもらっても郵政省が発行するくじつつきの方がよりうれしいものだ。人によってはそれにあらずと答える人もあるだろうが、たいていの人はくじつつきの方を喜ぶ。それというのも一月十五日の抽せんの結果を待つ楽しみがあるからだ。▲ところでその年賀状の出し方であるが、十二月十五日から二十八日までの間に送られたものは年賀特別郵便として扱われ、これは翌年一月一日の最先便から配達される仕組みになっている。その制度を知らないものだから中には早く出すと年内に配達されるかと感ちがいでいる人が正直なところいろいろだ。郵政省ではなるべく十二月の二十日頃までに出すよう呼びかけているが毎年それが実行されないで大変困っているらしい。常識的に考えても北海道へ出すものを十二月三十日に出しても一月一日にとどくはずがあるまい。▲以上のことをわきまえておれば一月一日には確実に受取人に配達されるわけである。が第一、年賀はがきの売り出しが十一月の十日であるため、そのはがきを求めることさえ忘れがちで

気がついたときには、もはや売り切れとなることが多い。まして師走(十二月)ともなると何かとせわしく、年賀

状態ではつい年末になってしまふものだがそれは一番自分に責任がありそうだ。▲要するに、年賀はがきの売り出しは十一月下旬、年賀状を出すのは十二月十五日からとさえ頭に明記してもないし、一月一日には受取人の手に渡しておとそをたしなみながらこたつの中で、気持ちよく読まれることであろう

【正解なし】

本年五大ニュース懸賞募集結果

最も近い方に記念品を贈呈

先号にて懸賞募集しました本年の五大ニュースは、皆さんから多数の応募をいただきありがとうございます。

11月25日集計の結果、残念ながら正解はありませんでしたが、最も正解に近い次の4名の方に記念品を贈呈しました。

- 正解1. 電源開発調印と着工
2. 40. 9 三大風水害
3. 越美北線の着工決定
4. 村議会議員選挙
5. 和泉村診療所完成

記念品贈呈者

- 後野 三島喜々範
朝日 畦田 一
下大納 松田 直行
" 松田 和子

交通事故ゼロ 県民運動

11月10日から 12月31日まで

- ◆ 右側通行と正しい横断の励行
- 自転車の正しい通行
- ◆ 無免許運転の絶滅
- ◎ 飲酒運転の絶滅
- ▲ 安全運転の厳守
- ※ 二輪車運転者のヘルメット着用
- ◆ 幼児を交通事故から守るのは家庭の義務
- 道路での立話はやめましょう



県民総ぐるみで交通事故をなくそう

○ ハリ渡るねずみの道も道なれど誠の道ぞ人の行く道。

第十七回

人権週間十二月四日～十日
人権デー 十二月十日

人権を守る

あなたが 守られる。

十二月十日は一九四八年(昭和二十三年)に国連総会で世界人権宣言が採択されてから満十七年の記念日にあたります。

わが国でも、十二月十日の人権デーを最終日とする一週間を人権週間と定め、全国的に人権を守る運動をひろげます。

なお、福井県人権擁護委員会連合会および福井地方事務局では、この人権週間中、講演会、座談会等の開催をしたり、特設人権相談所や巡回人権相談所の開設をしています。また、新聞、ラジオ、テレビなどマスコミも利用して人権擁護活動を行なっています。皆さんのうちに、人権が侵されたりまたは、貧困なるが故に裁判を受けることができないというような方がありましたら、泣き寝入りせず、人権擁護委員または、次の法務局、および財団法人法律扶助協会福井支部にご相談し

人のういき

【出生】 (十月分)

- 大谷 若山典子 稔 長女
下半原 中山京子 和男二女
後野 三島秀美 邦敏三女
持穴 山田智浩 利二男
久沢 野堀達也 一馬長男
- 【婚姻】
○大野市庄林 宮下 和子
上大納 梶原 英一

て下さい。

和泉村の人権擁護委員は
上大納 谷口市松氏です。
最寄りの法務局は、
福井地方事務局、大野支局
(大野市清水、電話大野⑥三九九番)

国勢調査による

和泉村の人口

十月一日現在をもつて、全国一斉に実施された国勢調査による、和泉村の人口は次のとおりです。

(カッコ内は昭和三十五年国勢調査人口)
世帯数 一、一四七 (一、一六八)
男 三、七六八 (二、七〇七)
女 一、九五八 (一、五五九)

計 五、七二六 (五、二六八)
これを昭和三十五年の国勢調査人口と比較しますと、男は一、〇六〇人増加しているが、女は反対に六〇三人減少し合計では四五七人の増加となっています。

以上は概数で、産業別とか部落別の詳細な数字については、総理府統計局の公表があり次第お知らせします。

- 岐阜県大野郡莊川村 山腰ふみ子
米 俵 杉山 寿江
○下大納 山本サチ子
岐阜県養老郡養老町 小川 義雄
○岐阜県土岐郡笠原町 江口 浪子
下半原 中川 英男
○持穴 高谷 暎子
岐阜県郡上郡高鷲村 隅沢 幹三
- 【死亡】
川合 道岸 とめ 八〇才
朝日 中屋ゆみ子 一ヶ月

さようなら伊勢分校

!!いつまでも故郷を忘れないで!!

電源開発に伴ない移住と決定した東市布、久沢両部落と共に、伊勢部落も今秋限り全戸がなくなります。もう大半は移住を終っています。大人達の移住につれて伊勢分校の児童も、昨日二人、今日一人と淋しく減って行きつづあります。

筆者は、去る十一月十日村議会総務委員の学校視察に随行して伊勢分校を訪れた。かつては五〇名を擁したこの分校も今は全部で八名、しかもこのうち二人は今日限り名古屋方面へ転校するといふ。筆者が「こちらを向いて：笑って！」に、こころよくうなずいて笑ってくれた。一人の女の子に「どこへ行くの」ときいたら「ギフ」と



いう。「嬉しい？」と問えば、笑って友と顔を見合わせるだけ……。

河野さん 武生市長さん ありがとうございました

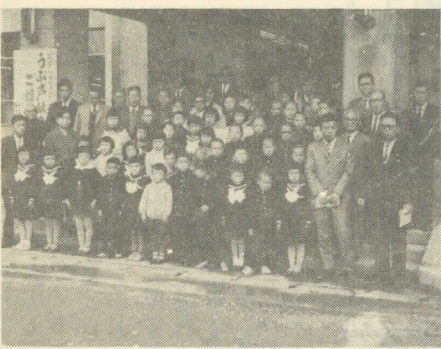
武生菊人形展に招かれて

十一月六日は素晴らしい小春日和であった。我々一行六十二名は大野交通のバスで午前七時校門を後に武生に向った。鯖江の河野さんの宅で一時間休憩し会場へ着いたのは二時頃であった。それまでに市役所、南小学校等へ立寄ったがその何れの会場に於ても温情と

いおうか厚情といおうか全く感激させられた。殊に河野さん宅に於ては恰も貴賓を迎えるその如く父の挨拶は息子が快挙を実現した喜びで声涙共に下る言々は痛く心打つものがあった。満足しきつた一家の人々の動静が知られると共に私達もその誠感激したのであった。子供達にとっては菊花展示の会場等々に心奪われた様子だったが私は「人情の美しさ」に打たれ通してあった。誠から生ずる人の情は単に「美しい」というのみでなく「崇高さ」が充滿していて、対する者の心をえぐるものである。こう感ずると同時に他より受けた感銘を我物として他人に對することの重要さを再認識した。晩

「この写真できたら皆さんに送ってあげますよ」というと「ああうれしい、ありがとう」とハッキリ答えてくれた。筆者は、無精に胸が一杯になり、あとは何も聞かず、やつのことわざで「さようなら」にどけいって別れを告げた。写真は、すなおに笑ってくれた伊勢分校の児童たち。

下山小学校一参加者



秋の気は夕方になるにつれて冷え冷えと感じたが六十二名の心は受けた温かさに何時までも何時までも包まれた一日の楽しさを語り合いつ、帰途についた。

○ 広報は、とじて保存しましょう。

にプレゼントして下さった。其の他河野さんの親戚知人・武生市長さん始め市の方々・新聞や放送関係の方々、一つの善行がかくも波紋をえがいて広まり、未知の多くの人と人との繋りが出て来るものかと今更ながら感にたえなかつた。又杉本和泉村長さんには特に乞うて、和泉特産の名石を武生市長様に贈っていただいたところ非常に喜ばれました。

「写真は武生市役所玄関で河野さん、武生市長さんを囲んでの「コマ」

雪は豊年の貢物

かじか

毎年此頃になると「今年大雪だろうか」とか人々の挨拶にまで話題になる。誰しも大雪の被害や災害、生活の不便さを予想して戦々恐々たる心情になるのも無理からぬことではある。移住する場合雪が降らない処が第一条件にもなる。しからは雪は百害あって一利なきものなりや？雪の功績を今一度考察して見たいと思う。

十年ほど前の話であるが、穴馬は雪さへ降らねば誠によい所だがと言う意見に対して、或る古老は「あほこけ、雪が降らなんだら今時穴馬なんかに住んでおれるか」と。その理由は雪が降るからこそ山にまだ木があり炭も焼けるが、年中山の木を伐り出していたなら今頃山は丸裸で生活の資源は何もないところだ。事実その通りで雪の降らない地方を旅行して見ると如何にもやせ山が多いことに気づく。雪は自然のダム動きをすると言うが、物資や金銭的な調節までする動きがあると思えば有難いことである。又何かの本に次のようなことが書いてあったことを記憶

しておる。それは大阪で現在成功している実業家を調べてみると、北陸人が非常に多い。理由として北陸人は冬期間雪の中で激しい世間から逃避して冬眠をする。即ち精力を蓄積しているのが大都市の激しい生存競争の中で蓄積された精力を徐々に、のんびりと出すだから途中で挫折することなく大成するのだと。雪は精力の調節ダムでもあるわけだ。

さて之から其の有難い雪がドンドンと降る時が来る。銀世界と言ひ、満目白皚皚と言ひ古今美辞麗句は多い。詩や歌や文章、絵画の材料にも多くとり入れられて人の心に慰安と芸術を与えり、天与の運動用具である。謡曲の一節に「雪は豊年の貢物」ともある。雪を慕って人間が集まらないのが不思議なくらいだ。雪景色をめでて俳句の一つも作り、大いに冬を楽しんで戴きたいものである。

◆あとがき◆

今月こそ来月こそと思っているうちに今年も早や師走となつてしまいました。「いずみ」も衣替えして丸一年、五大ニュースにも現れたように、波乱多い年でありました。いま、一年を振り返ってみますと、ああもしたかった、こんなこともやればよかつた、と懐古にいとまがありません。「人間は考えるとき成長する」……さて、私達編集つ子は、波乱多かつた一九六五年を、しずかに振り返りつつ、そして新しい一九六六年を、「よりよき発展の年」となるべく念願しながら、新構想を胸に、本年最終号のあとがきを終ります。皆さん、よいお年をお迎え下さい。